

ご近所福祉サポーターの役割

①	各ご近所での支え合いマップづくり ご近所福祉のサポートは、支え合いマップづくりから始まる。支え合いマップでご近所福祉の推進と支援に必要な様々な情報を得ることができる
②	マップ作りの情報でご近所福祉推進体制づくり ご近所内で見つかった世話焼きとそのスケール（大中小）と分布状況を見て、だれを中核にするか、だれをその協力者にするか—ご近所の福祉推進体制を大まかに作る
③	マップで出てきた福祉課題への取り組みを応援 支え合いマップづくりで、そのご近所をより福祉の場にするために求められていることがいくつか出てくるはず。それにご近所の人たちが取り組むのを応援する
④	福祉ニーズの発掘は日常的に ご近所内の井戸端会議や世話焼きさん宅を訪れて、だれがニーズ発掘が得意なのかを探す。その人のところを日常的に訪れればよい
⑤	近所内の各所での助け合いを応援 ご近所内の各所で小型世話焼きを中心に助け合いが行われているはず。ご近所内を巡回して、そうした「小さな助け合い」を後押しする
⑥	ご近所で解決できない難問の対処を応援 世話焼きさんといえども、その人のもとにやってきた難問をすべて解決できるわけではない。各ご近所の世話焼き宅を訪れて、その「難問」を聞き出し、自分の人脈を使って、解決に役立つ資源を探し出す
⑦	ご近所の福祉力を強化する 現状ではご近所の福祉力は極めて薄弱。しかしご近所に少なからずの要援護者がいて、住民の支援を求めている。急づくりにでも、ご近所の福祉力を強めていかねばならない
⑧	当事者の自助力の強化も 福祉はまず困った人自身が自分の問題解決の努力をすることから始まる。その努力がなされた上で、足りない部分を周りが支援すればよい

⑨	<p>町内圏域のご近所支援体制の強化</p> <p>町内圏域にいる町内会や民生委員、老人クラブや生協、JA、子ども会等の組織をご近所支援のために十分活用する。そのためにこの圏域にご近所支援体制を作っていく</p>
⑩	<p>「ご近所起こし」の応援</p> <p>ご近所福祉がうまく運ぶためには、ご近所の住民のふれあい、助け合いがより深まっていく必要がある。各ご近所段階での「起こし」、すなわち「ご近所起こし」なのだ</p>
⑪	<p>ご近所の生活環境の整備も応援</p> <p>都市化、核家族化、少子高齢化が進行し、一人暮らし高齢者を誰が見守るかといった福祉に取り組む以前の問題が山積している。サポーターも、生活環境の整備に力を入れなければならない</p>
⑫	<p>隣接ご近所同士の助け合いや連携を後押し</p> <p>サポーターは、複数のご近所を掌握している。この利点を生かして、ご近所間の助け合いや、共同活動を仕掛けることが可能だ</p>
⑬	<p>要介護者の枠外ニーズの対応策で公的機関と連携</p> <p>世話焼きでも、足元の要介護者には関与できていない。ケアマネジャー等が要介護者を囲い込んでしまい、彼らの手で施設入所やデイサービス利用が決められてしまっているからだ。彼等にも、「枠外」のニーズがたくさんある。それらは、ご近所の住民が協力しないことには解決しない。</p> <p>サポーターが仲介して、ご近所の人とケアマネジャーらの連携活動を働きかける必要がある</p>